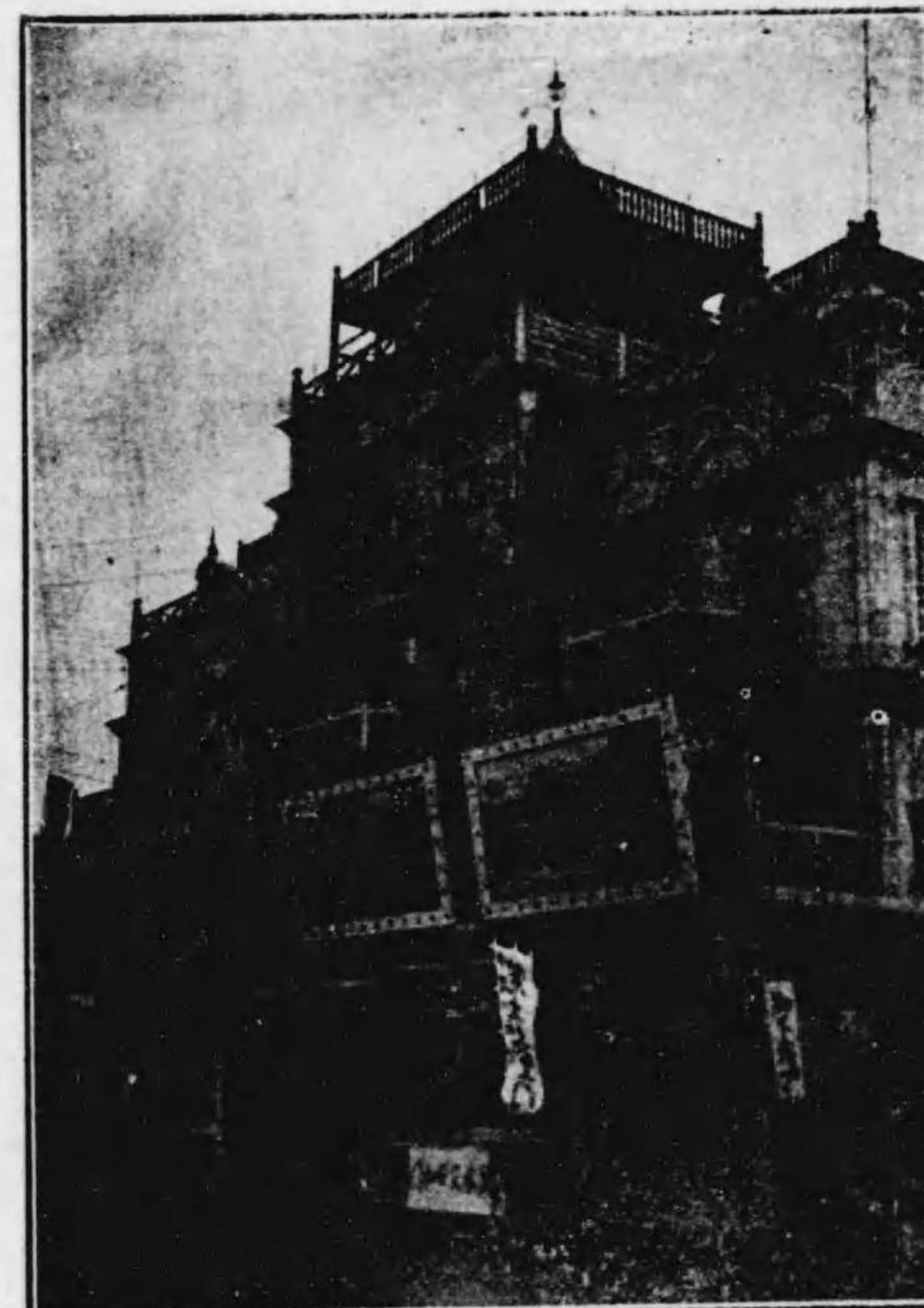




池田座

貫学校の所に替へ新築し十二月開らく。六年之を改築し三十年中改修すると共に今の主劇場經營の衝に當り四十年の大火に類焼したるを以て間もなく現位置に原築せり。當座は百四十六坪の敷地を有し場内（棧橋の後方）には観劇者化粧室を特設し又舞臺の構造及び見物席の設備は常に改善を加へ其外空氣の流通を宜からしむる等、劇場としての完備を期するが故に函館第一の劇場と目せらる。電話百十番座主池田金五郎氏。

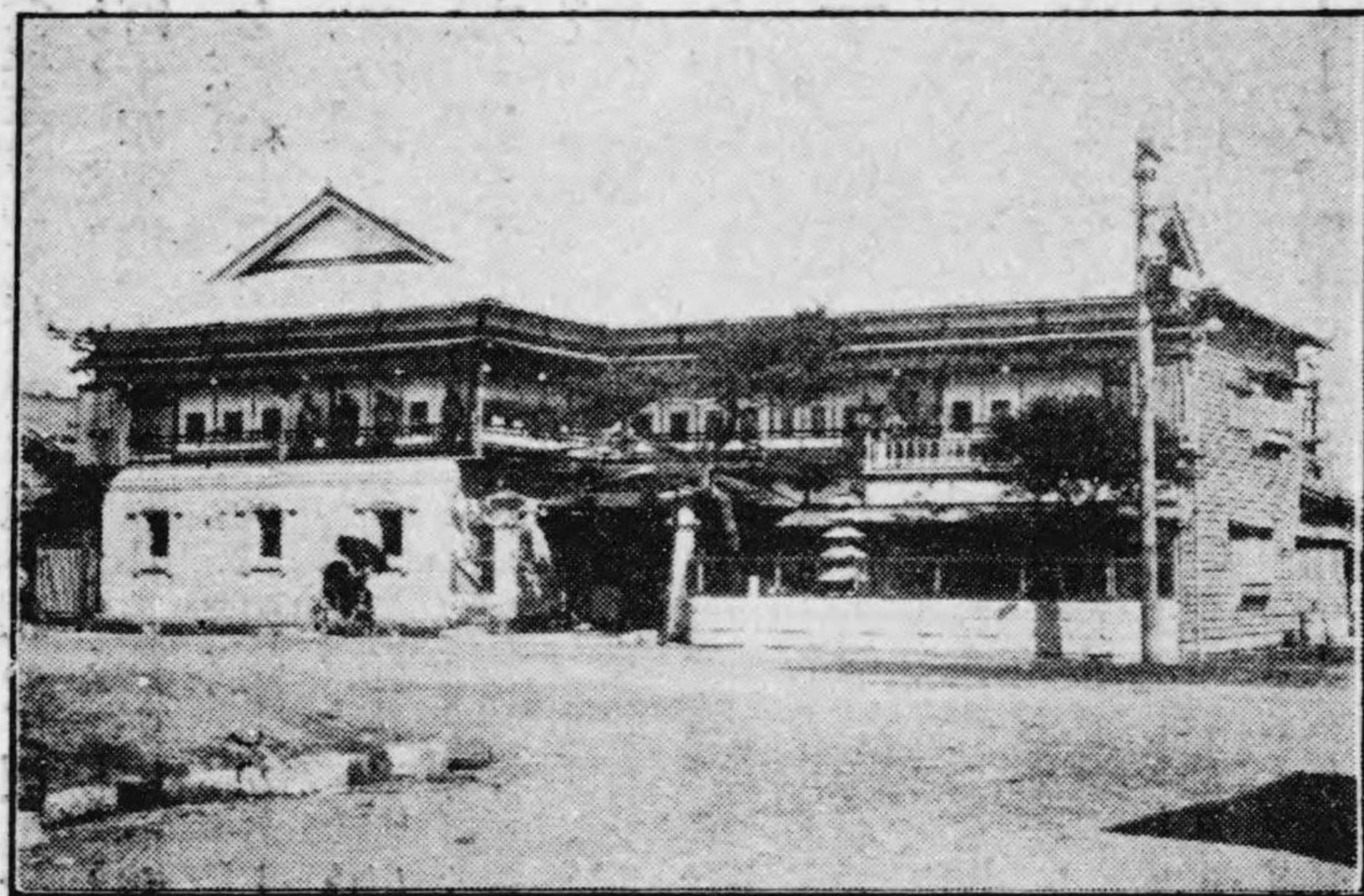
▼博品館 明治四十一年十一月勸工場として開設したりし當館は初め帝國博品館と名稱



し階下を商工品陳列場となし階上を東京福寶堂特約の活動寫真常設館となせし以來、内外の設備克く整頓するは勿論、現今にては東京以北第一の斯館たり。電話千三百十番。

其他劇場三、四あり。





大森遊廓（一名宇賀の浦遊廓）

▼・いろは樓 明治二十九年十月蓬萊町二十

二番地に創業、三十三年中同町十九番地へ引移

り四十年の大火に類焼したるを以て四十二年中

今の大森町二十二番地に假家を新築し營業を繼

續せり。而して四十四年七月新たに宏壯なる本

家を建築し今に至る。又樓主は卅八年中貸座敷

娼妓業組合取締役を勤む。電諸七番、樓主柳谷

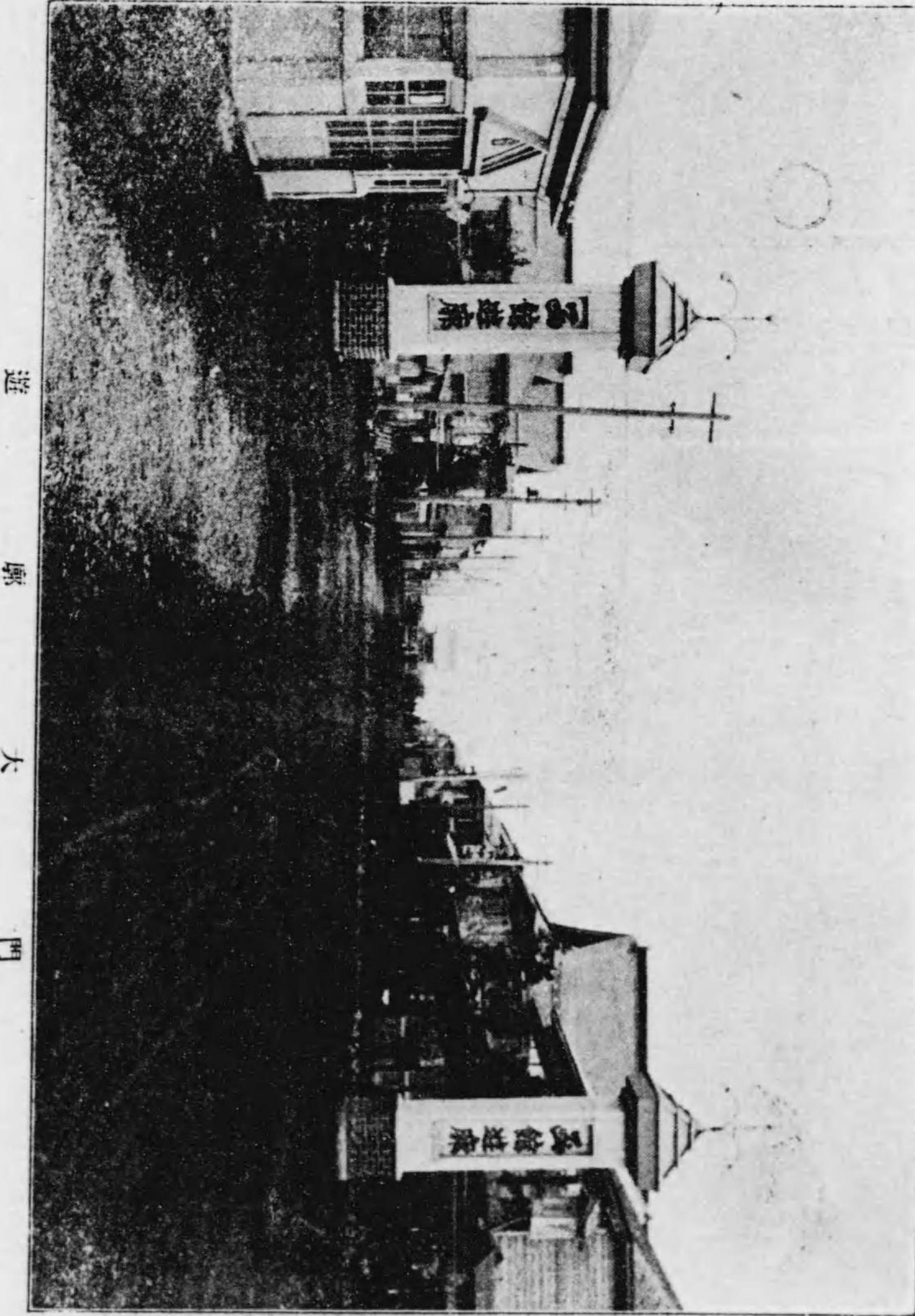
七郎右衛門氏。

▼・丸山樓 大森町二十一番地に巍然たる洋風の建物を見る是れを宇賀の浦遊廓第一の妓樓丸山と稱す。同樓は明治十六年六月舊ど武藏野

は ろ い

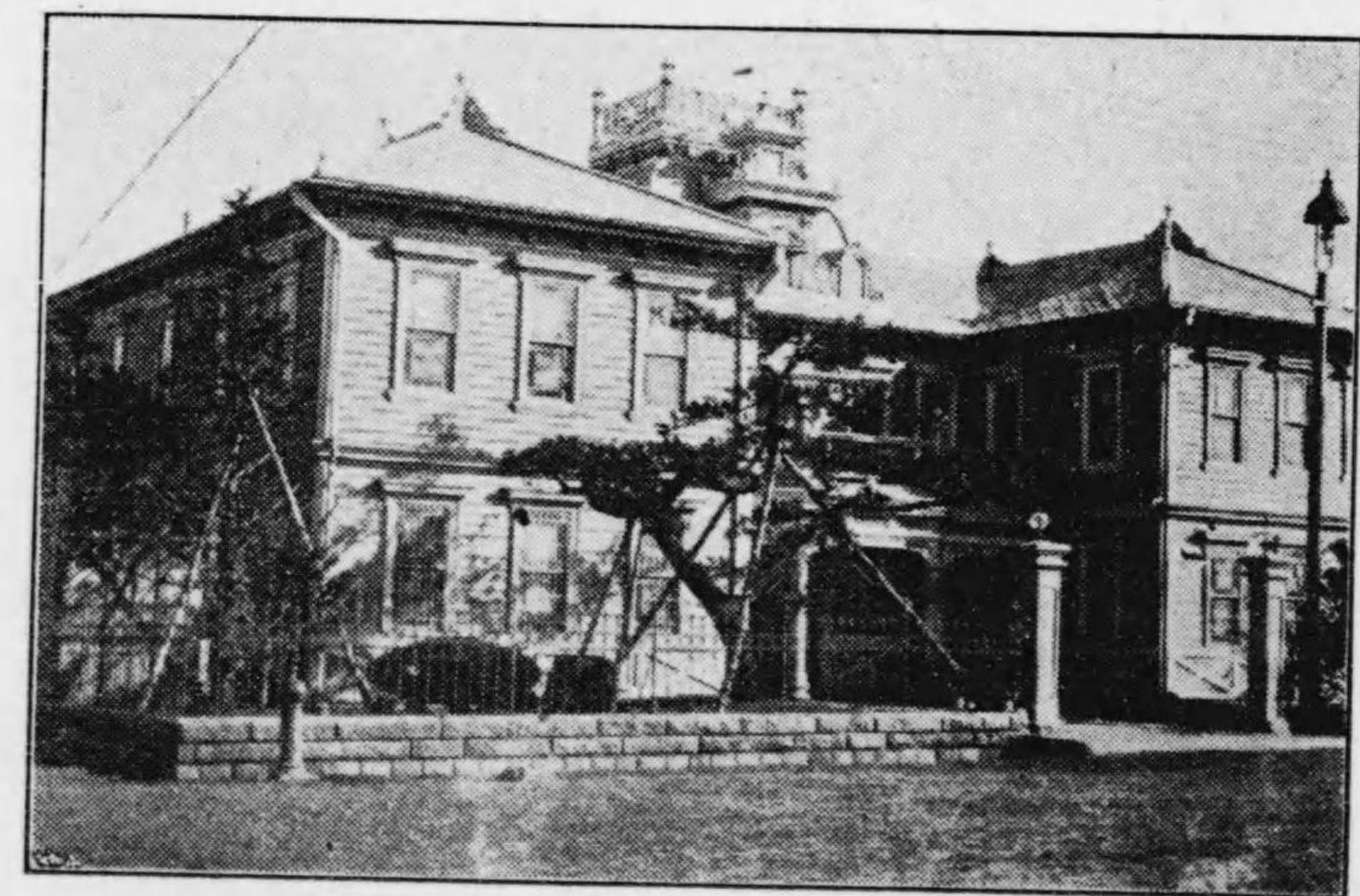
岸 田 一

三七八



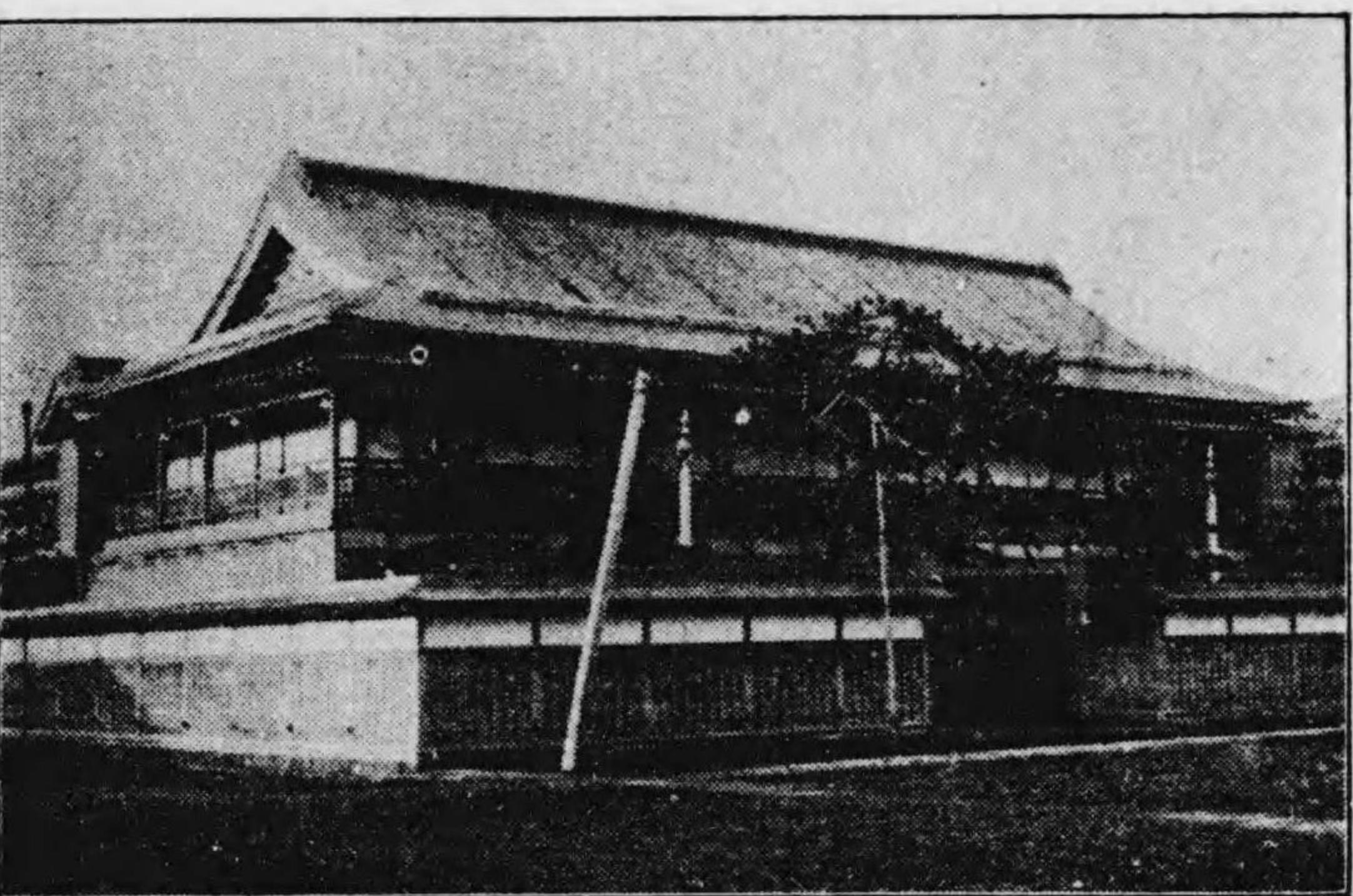
(蓬萊町の角屋敷)の處へ創めて開業、十八年同  
町十四番地、今の千秋庵支店の處へ移りて營業  
を繼續し四十年の大に延焼したりしが一時休  
業の上、四十二年十二月現位置に建物の新築落  
成を見たり。樓主は曾て貸座敷娼妓業組合取締  
役に就職したりしのみならず函館遊廓の人望家  
を以て知らる。電話十八番、樓主山田精一氏。

▼二・桟・樓  
函館遊廓中の利ける者たる當樓營業主は三十三年創めて青森市柳原に開業、三十  
六年より四十三年五月迄同市に燐熒、人の目を  
奪ふ誇りなる壯麗の建物以て貸座敷業を營み居  
りしが、四十三年の大火に延焼し悉く



樓山丸





角山樓

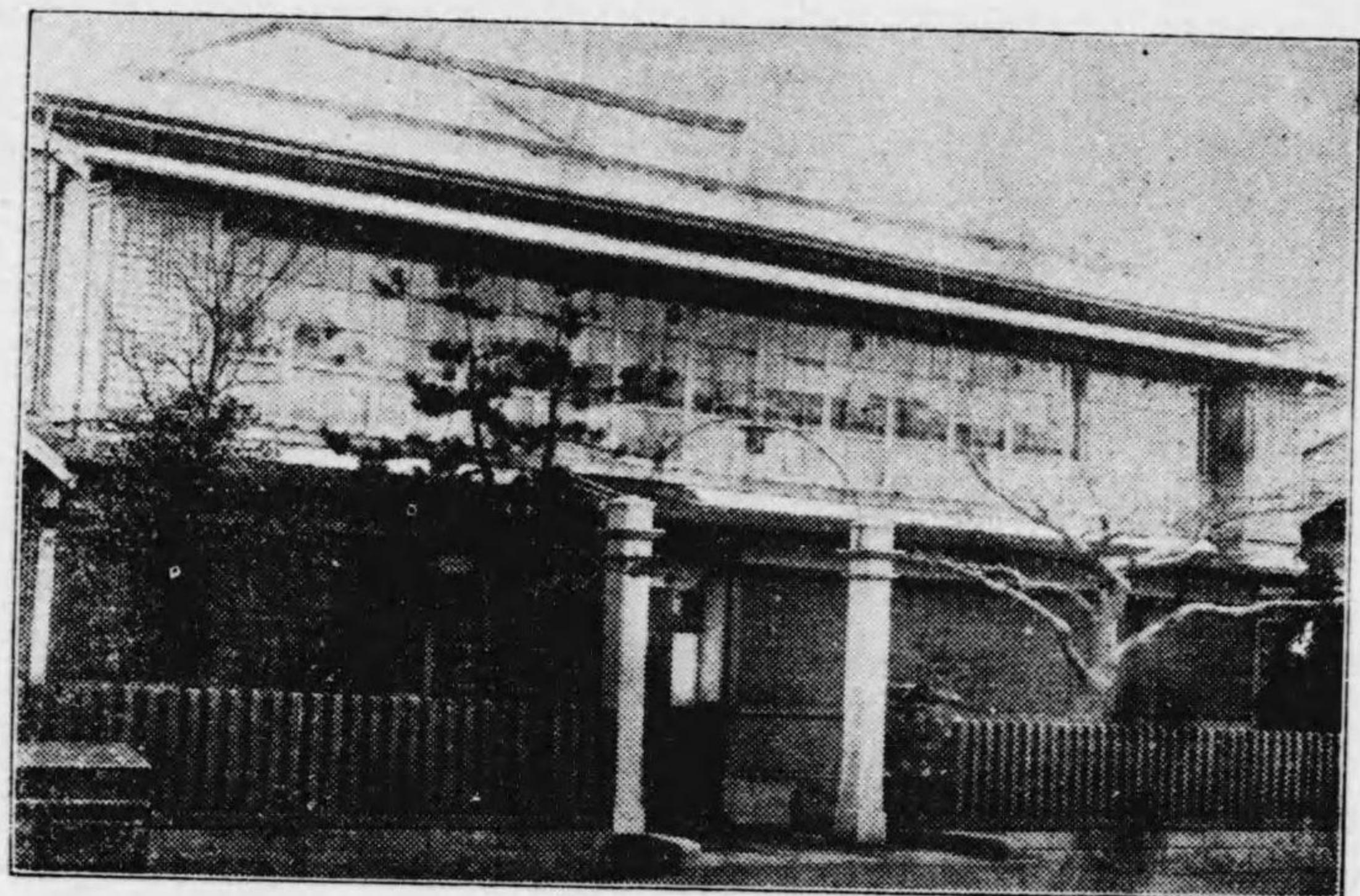
灰に歸せしめたるより同年今の大森町拾九番地（現所）に移轉開業以來、奇利を博する妙を得たる主人の營業振りなからくに物凄く今は宇賀の浦曲の濤と共に「三樹」の名高きを見る。電話二百三十番。

▼幸龜樓　函館遊廊は仲の町なる大森町三十番地に在り。明治二十八年の創業にして樓主は廓内の元老株を以て許されし人。電話九番、樓主竹内百藏氏。

▼第二丸山棲　明治三十八年の開業に係り今は大森町二十二番地にて營業。電話千〇六十五番樓主中村玉次郎氏。

▼角山樓　丸山、三樹樓を並び稱せらるゝ同

函館市史



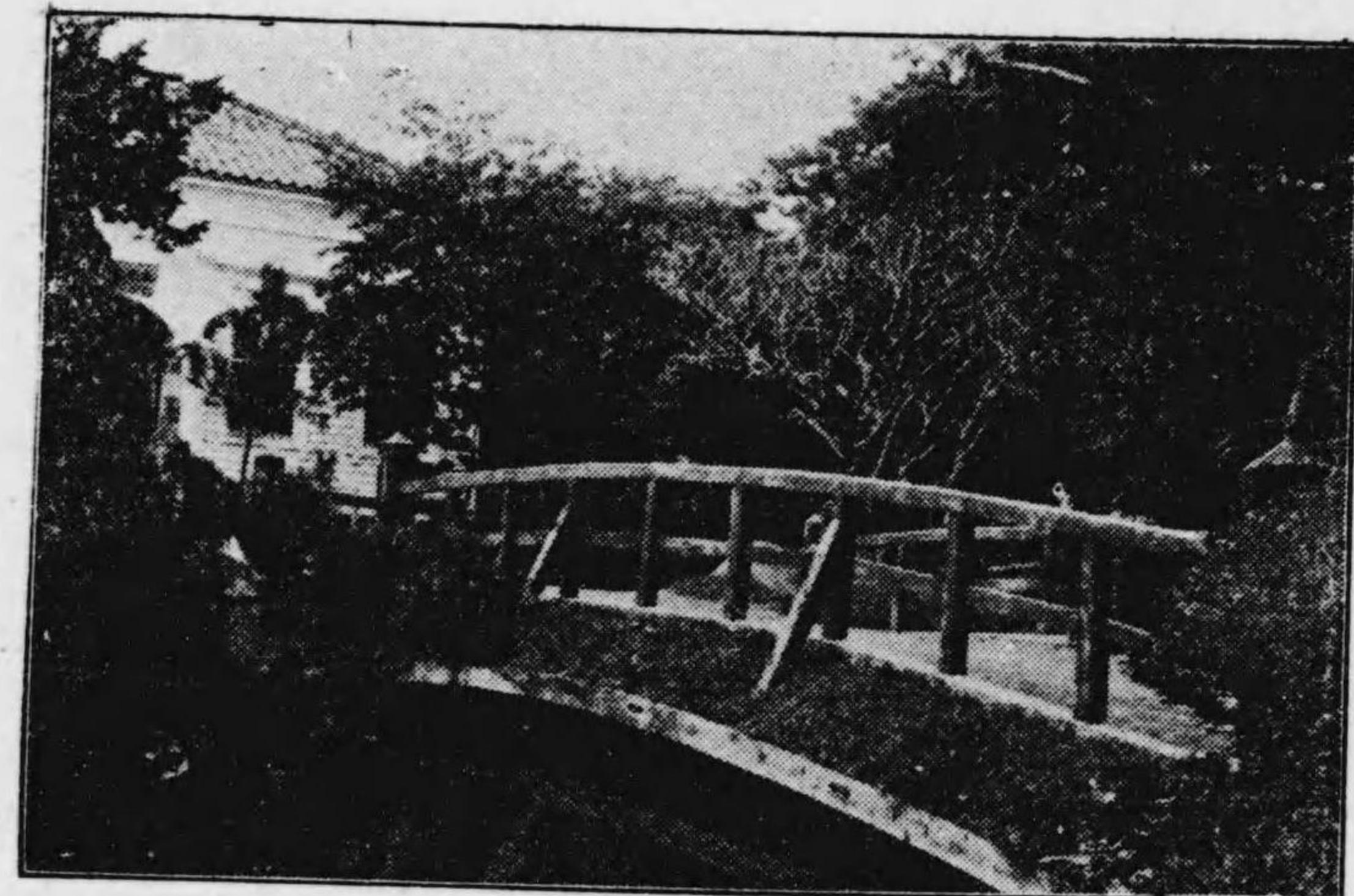
朝野樓は明治三十一年九月蓬萊町に創業、四十二年一月、今の大森町三十番地へ新築移転し現に宇賀の浦遊廓（函館）の大離にして樂土を示すの趣あり。樓主山岸常太郎氏電話七百三十五番野朝十六番地に在り。電話一一九一番樓主石井隆氏伊勢樓開業は明治二十九年、現今大森町十六番地に在り。電話一一九一番樓主石井隆氏清嘉樓明治二十九年の開業にして現今大森町十九番地にて營業を繼續せり。樓主清水かね子。

朝野樓開業は明治廿七年、當時蓬英町五百五番地に在りしも卅七年同町百卅一番地へ引越し四十年の大火に延焼、四十一年十月大森

町十五番地（今の處）へ本家を新築し今に及べり。電話六百四十二番、樓主谷口與三吉氏宮城樓前樓主淺井五左衛門氏は函館三等貸座敷創開の功勞者たり。同樓の開業は明治二十九年十二月一日にして當時蓬萊町百五十五番地に在りしも三十一年三月舊との武藏野向ひ角、尋で前山キ求友亭（料理屋）の跡を買受け營業を續けたりしが今は大森町三十二番地にて同業を營む。

## 函館名所案内

篠を先づ此處へ曳くと入口に並ぶ女夫松の枝振りが人の目に付く。總地積一万四千六百坪の箱庭も開拓使時代長官黒田清隆伯が建てられし（海山奇勝）の碑を見るとさも園の全景を説明するかの如く思はれる。明治七年開き始めの頃はどうだつたらう。何でも十一年中官民力を協せて假山を築き花木を植へてからは大に其趣を高めたさうだが其前、時の權書記時任爲基が自分で鋤鉢を探り工を助けるとア大變一市民、皆之に倣つて市内有志



函館公園白川橋

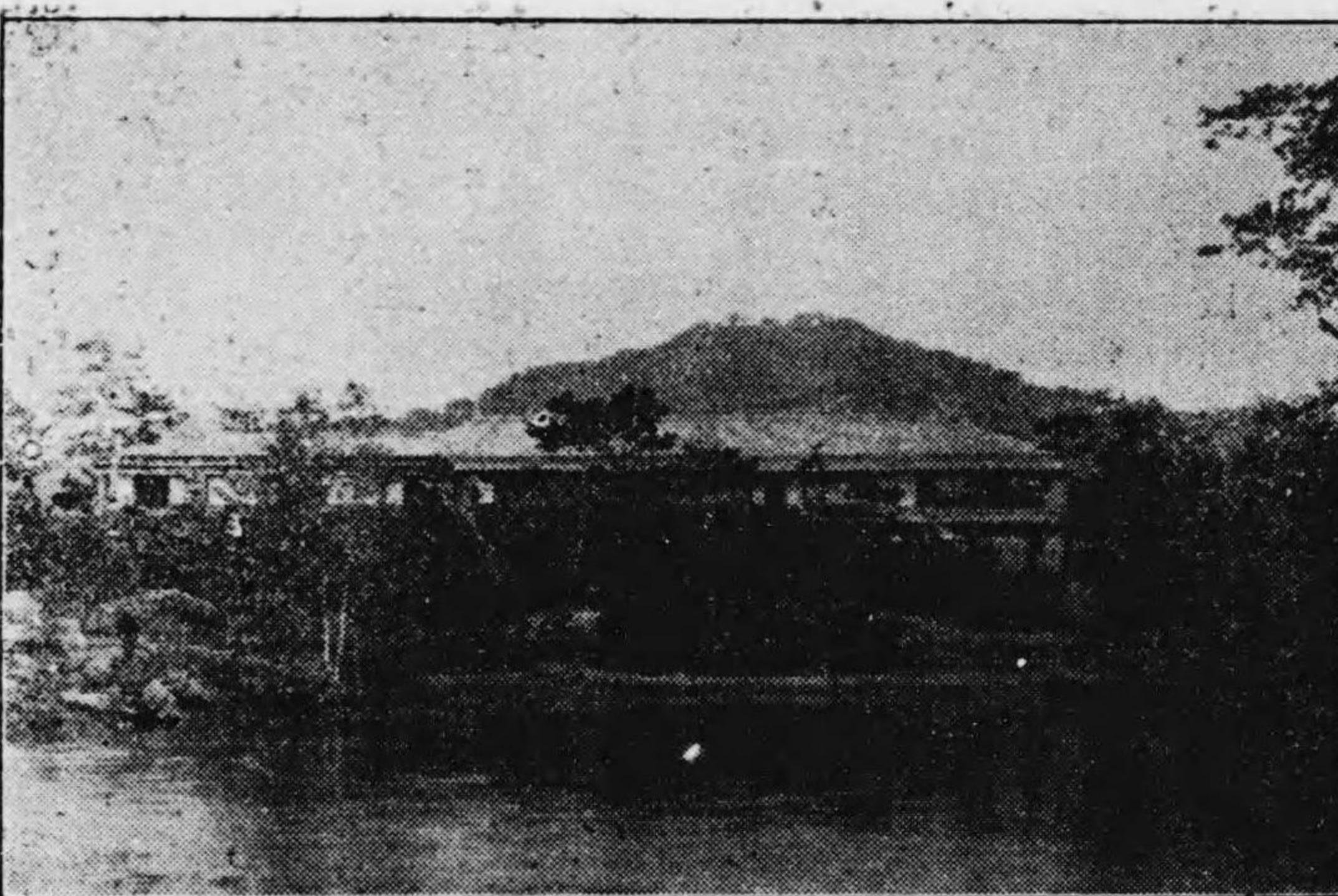
は各自に團体を結び寺院は各檀徒を率ゆるやら又遊廓からも藝娼妓の一團を繰り出して日を割定め其工を扶けに從たつは聞いてさへ其當時の事が眼に映る。又此四月博物館（今の水産陳列場）が開かれて汎く本道特有の海產物の標本を蒐めて衆庶の縱覽を許。十一年園内の修築を行なつて以後も漸次修理を加へるつれて曩に植栽した松樹や花木が皆繁茂り逸見小右衛門の寄附して植栽た吉野櫻や梅なども亦生育ち一層風致を添へたのである。十四年博物館（第一陳列場）前に橋が出来、偶々北白河宮の御巡覽に會したのを幸ひ命名を乞ふたところが白河橋と命が下

つた。十五年十一月淺田清治郎等發起となり公園開設の記念碑を達たり、二十二年水道布設の際、横濱居留外商イリス商會から寄附された噴水器を庭園内に据付けて噴水せたり、二十九年中當海產物仲買商人團體建設の銅製、劍形に凱旋記念の五字を鑄付けた二十七八年日清戦役凱旋記念の石碑や、さては三十五年念の松、安政年間露國寄贈の大砲、三十七八年兩年日露大戰の際旅順太陽山砲臺から分捕の十五砲野砲などが飾られたのみか四十年皇儲殿下（現皇帝）行啓の折、畏くもお手づから鉢もて植られし記念の松を始め摺鉢山下及び第二水產陳列場脇の御野立所、函館圖書館其他觀るべきものが段々に加はり其體裁も大に整ふて居るやうだが池の外に水一溜りも見られないけれども毎年春は櫻時、藤棚に花咲く頃には地域が高層いので四邊の眺望は甚だ良好ので北海一の公園と誇る値は充分だなど誰れでも思ふ。庭内の運動場は勇に於て櫻餅屋は艶に於て共に優るの觀があるし、園内二箇所の水產陳列場は區立だけに出品の數も多く擇捉嶋アトイヤの木標、アリート人、及びアイヌ人の器物、英人ブライキストン寄贈

の鳥類等は博物館時代に珍品として陳列されたものだが今は之を函館中學校に保存されて居る。函館の公園—其處には際涯なき海の幸を詩に擣られた景がもつれ合つて見へる。

## 五 棱郭

函館から一里餘、龜田にある。安政二年箱館奉行竹内保徳等之を畫し、翌三年武田斐三郎を工事擔當者として大に土木の工を起し元治元年完たく工成り六月奉行小出秀實移り茲に事を謀るど聞いたのは此處だ。廓の周圍は濠を繞らし龜田川を引て之を注ぐ仕掛である。又特に濠外東南西の三面に土壘を設け廓の周圍千九百間、舊正北と東北と西南とに門があつて、西南を追手門、追手門外三角土壘を設け内廓を隔て遮り小濠を鑿ち大濠に通するのだ。橋は五つあつて西北門前に一つ東北門前と追手門とに一つ宛、其左右に三つある。明治元年十月徳川脱走の徒落ちて此處に據り屢々官軍を悩ましたことのある箱館戦争を偲ぶ跡だが五年五月建物の總てを開拓使に毀されてからは亦當年の面影が薄らいで見へる。夏草やつはもの共の夢の跡—此處へ來ると此の感に打たれる。深い心の底から……。



## 大沼公園

汽車の便を借りて龜田郡七飯村大字軍川村へ行くと北海道一の遊覽地へ出られる。此園は函館の大北東約十三哩に位し明治二十八年十二月北海道地方費で設けられた所だが其初め大沼や付近の山岳を豫定せる雄大な設計だつた。けれども差向き大沼小沼を定め其島嶼は園地に編入れたもので、大沼小沼は相連りて瓢形を爲し其中部の一一番狹ひ所をセバツトといひ汽車が此處を通る。湖の周圍は八里二十町で九百三町七反歩の面積。水の質は清く澄むで飲用に適いから冬期は此で氷を製する。湖の岸は曲り屈つて大小の

# 露光量違いの為重複撮影

二八八

灣形をなして居る。湖の中には無慮百四十の島嶼があり、嶋の上には悉く樹木が生茂り中にも櫻、水松、槭が多い。東に流れ懸りて瀧となる湖水を留の瀧といひ其附近に留の湯並に函館水電會社發電所がある。北東に形の奇なる駒岳が聳へ立つ。觀光者には常に十數隻の遊船と毎年五月から九月に至る間大沼に公園假停車場を開いて遊覽の機關に供てる。大沼の北方約十八丁、蓴菜沼から產する蓴菜と大沼の雀焼（鮒料理）とは此處の二大名物である、風景清絕又壯絶の大沼は明治四十年今上陛下—前皇太子殿下の御賞覽わせられた事は地方民の記憶に極く新らしい。先には十四年 前帝—現皇帝の御父君—御巡行の際、蓴菜沼は湖中數個の小嶼があつて東方に駒岳を望み得る清麗の地であると風光を御賞覽あらせ給ふた所の名勝であることを忘れてはならぬ。何時も思ふ紅葉の名のある大沼の湖上に舟を棹として夕榮の色は鮮かに水面へ映る杉名瀧から向ふの駒岳を望む時の景色は詩情に捉はれなくとも畫中の人となるであらう。

灣形をなして居る。湖の中には無慮百四十の島嶼があり、島嶼の上には悉く樹木が生茂り中にも櫻、水松、槭が多い。東に流れ懸りて瀧となる湖水を留の瀧といひ其附近に留の湯並に函館水電會社發電所がある。北東に形の奇なる駒岳が聳へ立つ。觀光者には常に十數隻の遊船と毎年五月から九月に至る間大沼に公園假停車場を開いて遊覽の機關に供て居る。大沼の北方約十八丁、蓴菜沼から產する蓴菜と大沼の雀鳴（鮒料理）とは此處の二大名物である、風景清絕又壯絶の大沼は明治四十年今上陛下（前皇太子殿下）の御賞覽あらせられた事は地方民の記憶に極く新らしい。先には十四年（前帝）現皇帝の御父君（御巡行）の際、蓴菜沼は湖中數個の小嶼があつて東方に駒岳を望み得る清麗の地であると風光を御賞覽あらせ給ふた所の名勝であることを忘れてはならぬ。何時も思ふ紅葉のある大沼の湖上に舟を棹さして夕榮の色は鮮かに水面へ映る杉名瀧から向ふの駒岳を望む時の景色は詩情に捉はれなくとも畫中の人となるであらう。

# 大漁具船具一式 櫓權改良ノ胴製造



金 山 商 店

函館鰯瀧町三番地

電話一四番

電略○ヤマ

履物製造卸小賣

△金澤豊三郎  
鶴の湯 宇田富三  
理发 千歳軒 宇田富三  
函館區地藏町十番地

營業

課目

●掛菓子打物、パン其他一切

●進物用

●鑑詰

●折詰

●木製詰類一切

●菓子種

●輪種

●寒天

●水飴

●落花生

●菓子道具

●菓子染料

●其他附屬品一切

京東森永特約店

函館區惠比須町五十八番地

和洋菓子問屋

正高橋庄治郎

電話千〇八十八番電答(タカ)又(タ)

大工道具

諸金物一式

金特製鮪用間切

半吉田金三郎

電話三一六番

函館區大黒町五十四番地

流行帽子  
洋傘  
和洋小間物  
化粧品

毛織物類  
洋服附屬品  
袋物類

商號下藤本洋品店

函館區末廣町五番地

電略(ヤマト)

大武藏屋旅館

函館停車場前

樋口重親

電話(四六七番)

日本郵船會社

船客切符取扱所

# 露光量違いの為重複撮影

## 海員寄宿所及媒介

新潟県は朱色手縫等親切を旨として乗船さしむ

函館市末廣町舊橋橋通

## 金子海員寄宿所

最新の美容美髪流行式消毒の完全  
日本製の特色とする所なり

函館市末廣町舊橋橋通

## 金子理髮館

函館區末廣町百番地

## 龜久足袋老店

三田久兵衛

電話百九十六番

旅館函館區若松町停車場前

回漕問屋

惠比須屋

電略一〇一四番

●正直は人に飽かるゝことなし

足袋メリヤス類  
シヤツ股引仕立物一切

函館區地藏町山仙米屋向へ

## 九加藤商店

電話(四三六番)

和洋小間物類  
其他卸小賣

函館區末廣町九十四番地



大正屋  
飯田勝造

## 海員寄宿所及媒介

新海員は來れ手續等親切を旨として乗船さしむ

函館區末廣町舊棧橋通

## 金子海員寄宿所

最新の美容美髪流行式消毒の完全なるは本館の特色とする所なり

函館區末廣町舊棧橋通

## 金子理髮館

●正直は人に飽かるゝことなし

函館區若松町停車場前

旅館回漕問屋 恵比須屋

電話略(○一〇一四番)

## 龜久足袋老店

三田久兵衛

電話百九十六番

●正直は人に飽かるゝことなし

函館區末廣町九十四番地

和洋小間物類  
其他卸小賣

函館區末廣町百番地

## 九 加藤商店



大正屋  
飯田勝造

足袋メリヤス類  
シャツ股引 仕立物一切

函館區地藏町山仙米屋向へ

## 館員大募集 (年中無休)

業務大擴張ニ付普通教育ヲ有シ年齢十八才以上五十才以下身元確實ノモノ募集ス委細面談

一、被服行商具一切貸與ス月收當人ノ勉強ニヨリ二十圓以上五十圓位

二、任地ハ日本全國滿韓南米ニ支部出張所ノ設置アリ本人ノ希望ニ依テ相談ス

申込所

## 東京生盛藥館 函館支部

主任 田口梅次郎

函館區鶴岡町二十番地



神戸牛販  
鶏豚肉販賣  
並ニ牛乳ソーブ配達

サ 小林肉店

函館區末廣町六二

電話九百三十四番

誠

至

米穀 雜貨 白麥 販賣

海產 生干魚 依託賣買

至誠 一貫大正ノ勉強可仕候

函館區鰯澗町三十六番地

今 村田米穀商店

全區全町全番地

今 村田精米部

電話九百四十八番

電略ムタ又ムラタ

強

勉

函館區大森町三一

函館區蓬萊町  
東見番

電話(三〇一番)

# 山角山樓

山岸常太郎

電話(七三五番)

函館區鍛冶町  
巴見番

電話(四五五番)

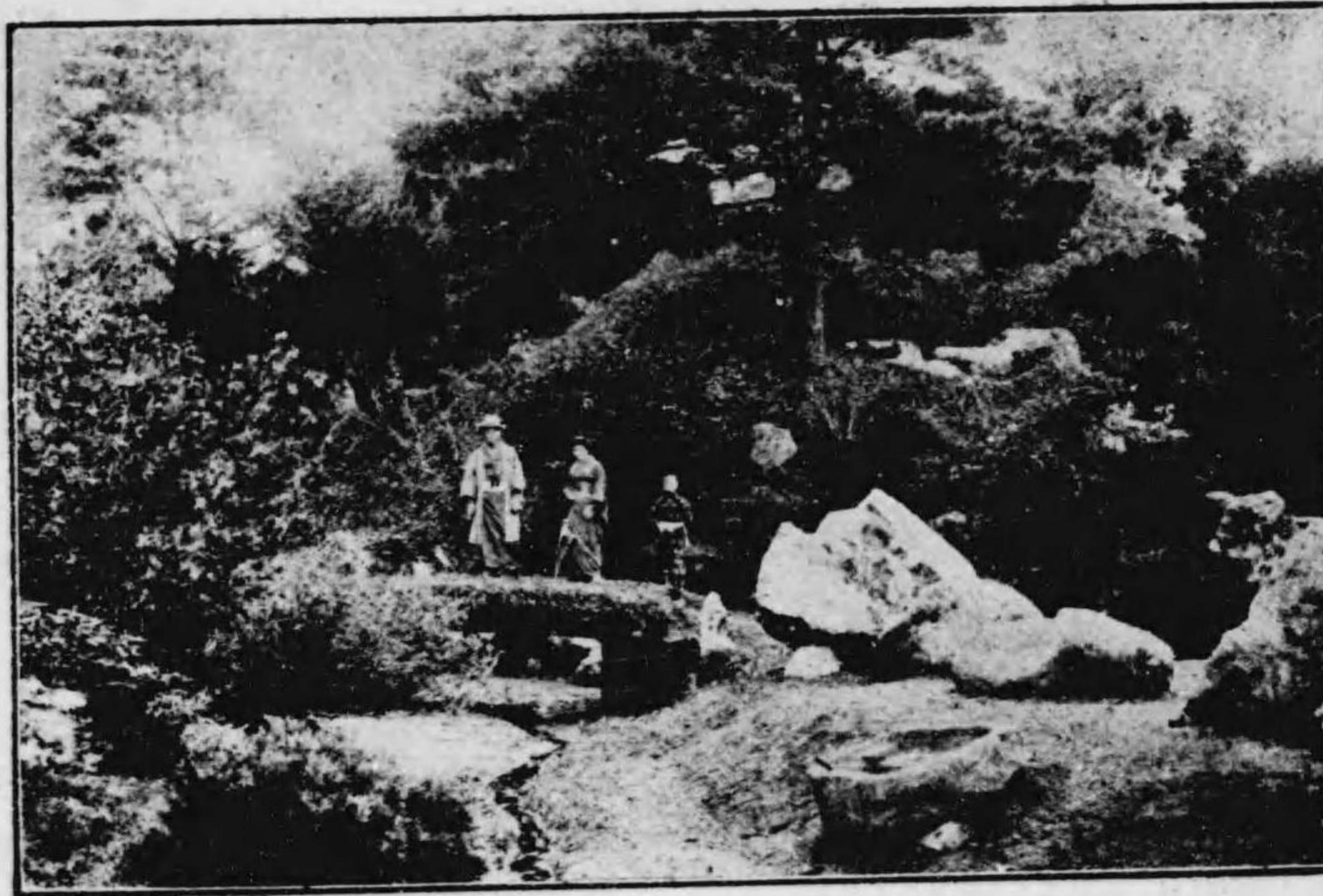
函館區蓬萊町

# 蓬萊見番

電話(二六九番)



## 函館驛より各驛に至る哩程及質金表



## 莊別一ノ久園公川の道

# 湯の川温泉

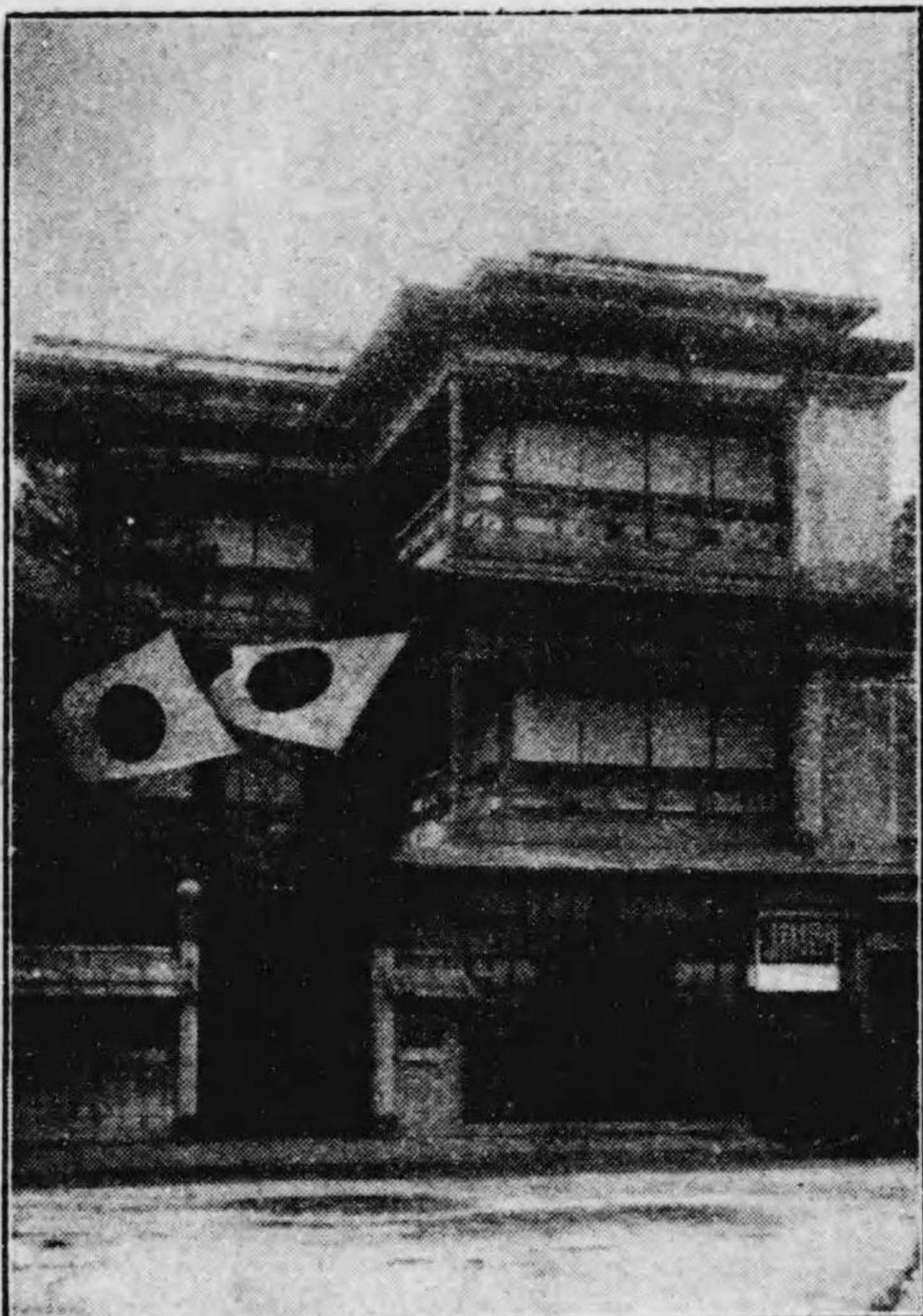
函館の東北一里半。湯川に行き温泉の浴客となり遊歩を恣ました時の感想で此記事が出土のは勿論である。温泉の發見されたのは明治十九年。其前越前の入石川藤七郷里から突抜井の器械を取寄せ自家用の井を掘つたが湯の澤、湯の尻等の地名が湯川にあるのみか鎮守神か湯食神と稱へるから昔時必ず温泉のあつた事と信じ十八年三月以來、該器械で處々に突抜を試みた、到る處、温泉の氣味があるので湯場を掘つた。で一時資本盡きて困難したが後ち遂に湯の尻官有地で成功したといふ湯川温泉の由來を知つて

居る人には耳新らしくもないが斯ういふ由緒付の温泉は南方海に瀕し、北東丘陵を負ひ閑静で風景が佳いのみか夏には綠折り敷く柏野湯川通の野一面に香氣床しい鈴蘭の花が咲き出たり温泉場の奥には湯川公園の稱わる久々一（辨天岩船峰次郎氏）の莊園を見られる。殊に函館から馬車鐵道（近く電車）が毎日通り電信、電話の設けある等、交通の便利や旅舎の設備や廿年間で修築した幅平均八間の函館、湯川間道路の平坦さは實に氣持好い位、自然に足が此處（湯川）へ向く。敢て薬湯といふでもないが泉質のアルカリ泉などさして氣候の寒くないのとが原因



湯 海

して四時浴客が絶ゆることがない。生温かい湯宿の隅からは華やかな笑聲や若やいだ話しが常に聽へる。享樂の地——それは恰かもほかくした春の日に美しい夢を乗せて居るやうに……



館 旅 朴  
朴 旅 館  
舊 橋 橋 通  
函館區東濱町  
十三番地  
電話一四六番

井子親丼天理料御便輕



(舊棧橋前)

函館區東濱町

入  
永  
家

遠近こゝも多かに拘はらず  
御用命願上候

一切お好みに出前手早に成り  
調理仕候



店 越 塚

和 洋、食 料、雜 貨  
蟹 節、鷄 卵、果 物  
其 他 實 用 進 物 調 進 所

命 塚 越 商 店

函館區東濱町廿二番地

電 話 (八三九番)

# 劇場 池田座

函館區寶町三十八番地

座主 池田金五郎

電話(一一〇番)

大正元年十二月十日印刷  
大正元年十二月十五日發行

(定價金五拾五錢)

發行所 富の函館社

函館區寶町四十番地

共編人 桑高賢午

函館區末廣町九番地

小野榮藏

函館區大森町三十二番地

渡邊健

函館區寶町四十番地

伊藤力松

函館區會所町三十三番地

印刷人 印刷所

函館毎日新聞社分工場

複製  
不許

332

40'



函館辨天町 𩫓舩吳服店

電話二八五六番番六一

電話又は端書にて御申込次第係員御伺ひ致ります

社會式株斯瓦道海北  
所營館函



瓦斯よ人造の日光

普通の瓦斯器具も貰ひます



瓦斯燈火は  
美一氣を  
奇麗を陽  
氣で物が  
見えます

本社の電話は四八九三一業務所番である

332  
403

終